

除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ダイズ FG72 系統（飼料）に係る 食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えダイズ「除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ダイズ FG72 系統」（以下「FG72 ダイズ」という。）については、平成 26 年 3 月 3 日付けで遺伝子組換え飼料の安全性確認の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

FG72 ダイズには、除草剤グリホサート及び除草剤イソキサフルトールに対する耐性を付与するため、*2mepsps* 遺伝子及び *hppdPFW336* 遺伝子が導入されている。

トウモロコシ（*Zea mays*）由来の *2mepsps* 遺伝子によって産生される 2mEPSPS タンパク質は、グリホサートによる影響を受けない。2mEPSPS タンパク質が、グリホサート存在下でも生長に必須の芳香族アミノ酸の合成を可能とすることにより、植物にグリホサートに対する耐性を付与する。

Pseudomonas fluorescens 由来の *hppdPFW336* 遺伝子によって産生される HPPD W336 タンパク質は、イソキサフルトールによる影響を受けない。HPPD W336 タンパク質が、イソキサフルトール存在下でも、光合成や抗酸化システムに関わる物質の前駆体である、ホモゲンチジン酸の生産を可能とすることにより、植物にイソキサフルトールに対する耐性を付与する。

3. 利用目的および利用方法

FG72 ダイズの飼料としての利用目的や利用方法は、従来のダイズと相違がない。

4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
オーストラリア・ ニュージーランド	2012 年 2 月確認	オーストラリア・ニュージーランド 食品基準局 (FSANZ)
カナダ	2012 年 6 月確認	カナダ食品検査庁 (CFIA)
米国	2012 年 8 月確認	米国食品医薬品局 (FDA)